

許すな！ 雇用・賃金・年金破壊 守ろう！ 平和と憲法

自民・公明が年金法案を強行採決 参院選で悪政推進与党に厳しい審判を

与党は5日、参議院本会議で「年金改悪法案」を強行可決し成立させました。

法案の内容も「保険料上限固定」と「年金給付の50%の下限確保」の2つの看板がまったくのウソだということが明らかになり、国民に充分説明する責任と本格議論が求められるなか、共産党・社民党・無所属議員の審議権も奪っての委員会採決強行であり、また国会運営も前代未聞のファッショ的力のごり押しで押し通したものでした。

4日の参議院本会議の傍聴は、約30名が入り、13:00から20:15までの7時間に及ぶ傍聴に、全厚生と全労働の2人の中央執行委員が参加しました。身じろぎもせず見入っていたといえます。

改悪年金制度の10月実施の前に、7月11日投票で参議院選挙が行なわれます。「実施させない議員を選ぼう」との声を大きくしましょう。24日の公示日までに大宣伝行動を実施しましょう。

4日新宿・池袋・御茶ノ水で年金強行採決抗議の宣伝行動

「保険料未納閣僚は許せない」「集会やデモの呼びかけを」と通行人

3日の委員会強行採決後、4日の本会議開催さなかの夕方、全労連と国民春闘共闘、中央社保協は新宿西口で53名が参加し、池袋駅では東京社保協や東京地評などが組織する「年金改悪に反対する東京連絡会」が20名で、御茶ノ水駅では国公労連が中央会議終了後に、年金改悪法案の廃案と委員会の採決強行に抗議した宣伝行動を実施しました。

新宿駅西口前では、中央社保協の山田事務局長の司会で、全教の東森書記長、自治労連の駒場委員長、全厚生杉下委員長、保団連の室生会長、年金者組合の森委員長、神奈川労連の菊谷議長が訴えました。新宿駅2000枚、御茶ノ水駅2000枚、池袋駅300枚のチラシを配布しました。受け取りが非常によく、新宿駅では、チラシを受け取りながら「保険料の未納閣僚は許せない。保険料の無駄使い問題では責任を取らせる意味で訴訟を起こせば、国民も支持する」「誰でも参加できる集会やデモを呼びかけてほしい」など、怒りをあらわにした通行人が話しかけてきました。

当面の国会行動

有事関連法案をめぐるのは、年金改悪法案の強行採決をめぐる、事実上各種委員会がストップしています。有事関連法案の参議院本会議での趣旨説明の日程は、8日の参議院議事運営委員会の開催で決まってくる関係で、情勢に見合った委員会傍聴などの行動日程は決まっていません。

したがって、今週の国会に対応した行動は、9日・10日の国会座り込み行動は、参議院議面集會に切り替えます。

9日・10日の国会座り込み行動→参議院議面集會に変更

9日（水） 12：15～13：00 参議院議面

10日（木） 12：15～13：00 参議院議面

*有事関連特別委員会が開催された場合は傍聴行動を実施します。別途連絡しますのでよろしくをお願いします。

年金宣伝版下 11日に送付 大宣伝行動に活用を

全労連年金闘争本部は、11日に「自民・公明が強行採決」「実施させない議員を選ぼう」との、宣伝版下を送付します。メールと版下での送付です。24日の公示前までの宣伝に活用しましょう。同じものが中央社保協の版下としても送付となりますので、地方社保協との共同の宣伝も実施できます。「年金改悪法抗議、有事関連法案の廃案」めざした宣伝行動を強めましょう。

ANNの世論調査：小泉内閣支持率10ポイント下がり、50%を割り込み。年金法案への対応が原因

この調査は5日、6日に実施されました。まず、小泉内閣の支持率は「支持する」と答えた人が44.5%で、先月の調査より10.4ポイント下がりました。先週末に成立した年金法案に対して、与党が強行採決などで審議を進めたことについて、「問題があると思う」が75%に上り、4人に3人が「NO」と答えました。その年金法案の中身について、「支持する」が18.8%で、先月の調査より5ポイント減ったのに対し、「支持しない」が59.6%で10ポイント増えています。小泉総理大臣自らの年金未加入問題などへの対応については、「誠実だった」と答えた人が18.1%、「誠実でなかった」が65.6%でした。さらに、7月の参院選で年金問題を投票の基準にするかどうかを尋ねたところ、「大いにする」、「ある程度する」と答えた人が合わせて6割、「あまりしない」、「まったくしない」が合わせて3割でした。

国会請願署名の最終提出は9日。7日までに全労連に到着を